

# 統計調査ニュース

No.355

平成28年(2016)6月



## 創設の想いを受け継ぎ、刻む新たな歴史

～平成28年経済センサス - 活動調査の実施に当たって～

総務省統計局長 會田 雅人

まず始めに、平成28年熊本地震により被災されました皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

さて、「経済センサス」は、平成21年に初めて実施された歴史の浅い調査ですが、我が国の経済を把握するための極めて重要な調査です。

産業ごとの統計調査は、もちろん以前から実施されてきましたが、従前の統計調査では、特定の産業についての調査が中心で、調査の時点や周期が異なる点、国民経済に高いウエイトを占める第3次産業に係る分野の統計が不足していた点などが指摘されてきました。そこで、GDPを推計するための基礎統計として、全産業を網羅する一次統計が必要とされ、閣議決定を経て、有識者、関係府省・地方公共団体など、多くの方々による長年の御尽力により「経済センサス」は誕生しました。

一昨年(平成27年)の7月に実施した経済センサス - 基礎調査は記憶に新しい

と思いますが、本年は経済センサス - 活動調査を実施しています。

経済センサス - 活動調査は、我が国の全産業分野の経済活動の実態を同一時点で網羅的に把握し、全国のみならず地域別にこれを明らかにするため、我が国の全ての事業所・企業を対象に行うもので、「経済の国勢調査」とも呼ばれています。そして、この調査の結果は、GDPの推計、地方消費税の清算を始め、中小企業政策、地方創生に資する地域の現状分析など、国や地方公共団体の様々な政策の基礎資料として利用されるほか、新規店舗の出店計画といった企業の経営戦略にも利用されています。

この調査は、総務省と経済産業省が共管で実施しており、この統計調査ニュースが発行される頃は、事業所・企業の皆様からの回答を受け付けているところです。

今回の調査では、企業数において全体の約半数を占める個人経営

企業について、調査事項を大幅に簡素化した『個人経営調査票』を新たに導入するとともに、近年の情報通信技術(ICT)の急速な進展を踏まえ、秘密の保持に万全を期しつつ、全ての事業所からインターネットでの回答を可能として、これまで以上に簡素で効率的な調査を目指しています。

また、広報や協力依頼も重要と認識しています。そこで、調査を盛り上げるため、広報タレントに草野仁さんと皆藤愛子さんを起用し、調査のキャンペーンサイトのみならず、テレビ・ラジオCM、新聞広告等を活用して調査実施を周知し、調査への回答を呼びかけました。

創設に携わった先人達の熱い想いを受け継ぎ、時代に即した統計を常に創り出していきたいと思えます。皆様方の引き続きの御協力をよろしくお願い申し上げます。

### 目次

創設の想いを受け継ぎ、刻む新たな歴史  
～平成28年経済センサス - 活動調査の実施に当たって～…………… 1

平成28年経済センサス - 活動調査 広報活動報告(その1)…………… 2

家計調査(貯蓄・負債編)平成27年(2015年)平均結果速報の概要…………… 4

第64回統計グラフ全国コンクール作品の募集をしています…………… 5

「なるほど統計学園」の御案内(夏休みに向けて)…………… 6

中核市発とうけい通信②…………… 7

経済センサス  
活動調査

# 平成28年経済センサス - 活動調査 広報活動報告 (その1)



本年6月1日を調査日として、平成28年経済センサス - 活動調査を実施しています。これまで、調査の円滑な実施に向け、広報タレントに草野仁さんと皆藤愛子さんを起用し、ポスター、CM、記者発表会など、様々なメディアを通じて広報を行ってきました。また、「ビルくんとケイちゃん」の着ぐるみを作製しました。

今回は、国が実施している広報活動の一部を写真入りで紹介します。

## ポスター、リーフレット

○調査対象事業所、関係団体へのリーフレットの配布、駅などの公共施設でのポスター掲示



▲ポスター、リーフレット (表面)



▲リーフレット (裏面)

## テレビCM

○5月20日から6月7日まで、全国35局で放映



## インターネット広告

○多くの著名人が話題の経済ニュースを解説する経済メディア「NewsPicks」に特集記事(全6回)を掲載



## 記者発表会

○土屋正忠総務副大臣，星野剛士経済産業大臣政務官，広報タレントのお二人の出席の下，記者発表会を実施



▲挨拶する土屋総務副大臣



▲全員で並んでフォトセッション

## 経済センサスキャラクター「ビルくんとケイちゃん」着ぐるみ作製

○経済センサスで初めて「ビルくんとケイちゃん」の着ぐるみを作製



▲正面から



▲統計局長室にて，統計局幹部，経済統計課職員と

次回は，国が作製した広報グッズや  
地方公共団体が実施した広報活動  
(イベント) の紹介と，「ビルくんと  
ケイちゃん」のご当地紀行です。



# 家計調査（貯蓄・負債編）平成27年（2015年）平均結果速報の概要

家計調査では、世帯の収入や支出のほかに貯蓄・負債の保有状況を調査しています。この度、貯蓄・負債編の平成27年（2015年）平均結果速報を平成28年5月17日に公表しましたので、その概要を紹介します。

## 二人以上の世帯における1世帯当たり貯蓄現在高は1805万円と、前年に比べ0.4%増加し、3年連続の増加

二人以上の世帯における2015年平均の1世帯当たり貯蓄現在高(平均値)は1805万円で、前年に比べ7万円、0.4%の増加となり、3年連続の増加となりました。(図1)

また、貯蓄現在高階級別の世帯分布をみると、平均値(1805万円)を下回る世帯が約3分の2を占めています。(図2)

図1 貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）  
－ 2010年～2015年－

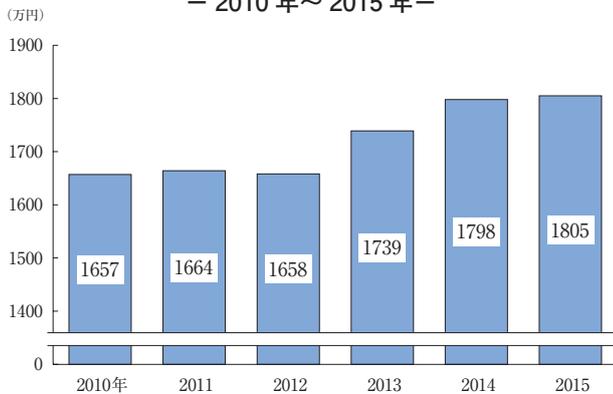
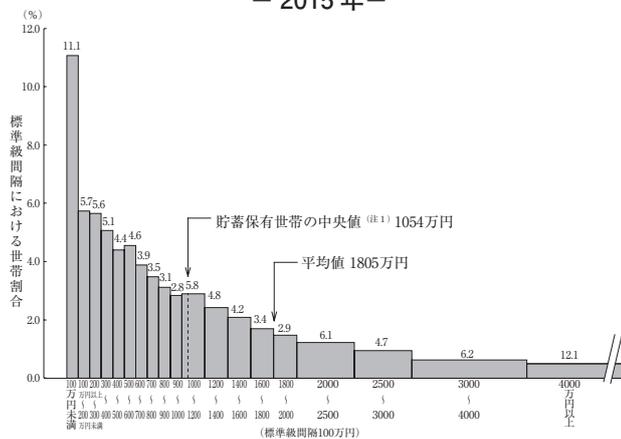


図2 貯蓄現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯）  
－ 2015年－

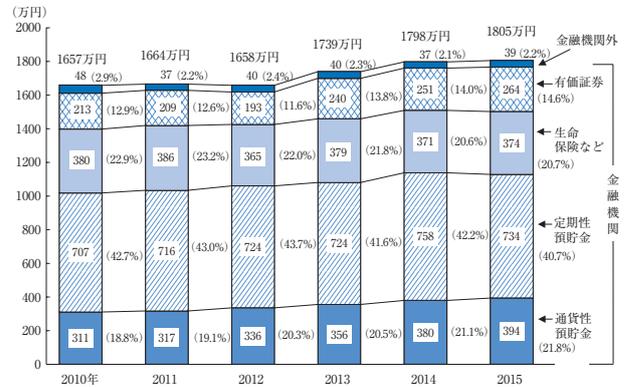


(注1) 貯蓄保有世帯の中央値とは、貯蓄現在高が「0」の世帯を除いた世帯を貯蓄現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の貯蓄現在高をいう。なお、貯蓄「0」世帯を含めた中央値(参考値)は997万円である。

## 貯蓄の種類別にみると、有価証券は3年連続の増加、定期性預貯金は7年ぶりの減少

二人以上の世帯について貯蓄の種類別に1世帯当たり貯蓄現在高の推移をみると、有価証券、通貨性預貯金、「生命保険など」及び金融機関外が前年に比べ増加となっています。このうち有価証券については、前年に比べ13万円、5.2%の増加となり、3年連続の増加となりました。一方、定期性預貯金は前年に比べ24万円、3.2%の減少となり、7年ぶりの減少となりました。(図3)

図3 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比の推移（二人以上の世帯）－ 2010年～2015年－



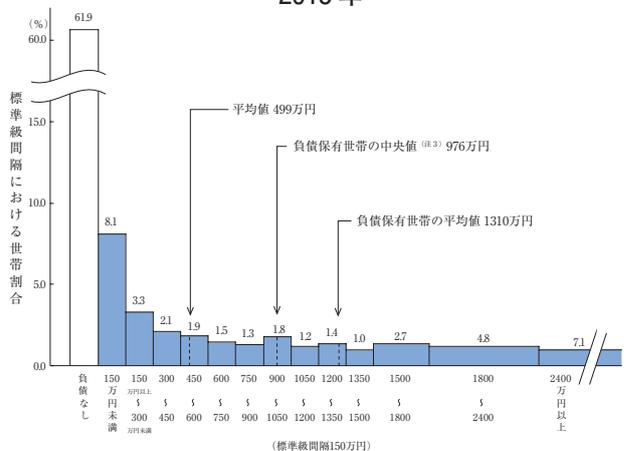
(注2) ( )内は、貯蓄現在高に占める割合

## 二人以上の世帯の負債現在高は499万円と、前年に比べ10万円、2.0%の減少

二人以上の世帯における2015年平均の1世帯当たり負債現在高(平均値)は499万円で、前年に比べ10万円、2.0%の減少となりました。また、負債の種類別負債現在高をみると、負債現在高の約9割を占める住宅・土地のための負債は446万円で、前年に比べ12万円、2.6%の減少となりました。

二人以上の世帯の負債保有世帯に限ってみると、負債現在高の平均値(1310万円)を下回る世帯が約6割を占めています。また、負債保有世帯を二分する中央値は、976万円(前年1019万円)となりました。(図4)

図4 負債現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯）  
－ 2015年－



(注3) 負債保有世帯の中央値とは、負債現在高が「0」の世帯を除いた世帯を負債現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の負債現在高をいう。

# 第64回統計グラフ全国コンクール作品の募集をしています

統計グラフ全国コンクールは、国民の皆様には、統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知っていただくとともに、統計調査への理解を深めていただくことを目的に、昭和28年から実施されており、今年で64回目を迎えます。

このコンクールは、(公財)統計情報研究開発センター(以下「開発センター」といいます。)及び総務省が主催し、文部科学省等の後援及び協賛により、10月18日の「統計の日」の関連行事として実施されています。

平成27年(第63回)は、全国の小・中学生から一般の方々まで、26,558作品に及ぶ多くの応募がありました。

入賞作品のうち、特に優秀な作品には「総務大臣特別賞」が授与され、平成27年は、パソコン統計グラフの部(小学校の児童以上)から「白菜の町『八千代』の助っ人は外国人」が受賞しました。

「総務大臣特別賞」を含む特選受賞作品の表彰は、平成27年11月19日(木)に「国立オリンピック記念青少年総合センター」(東京都渋谷区)で開催された第65回全国統計大会において、入選作品の表彰は各都道府県で開催された地方統計大会、統計功労者表彰式等においてそれぞれ行われました。

また、58点の特選・入選作品は、上記の全国統計大会のほか、「統計データ・グラフフェア」(平成27年10月17日(土)～18日(日)新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催)等の会場において展示されました。

今年も次のように作品の募集が行われています。

皆様の創意と工夫に満ちた作品をお待ちしております。

## 応募資格

- 第1部・・・小学校1年生及び2年生の児童
- 第2部・・・小学校3年生及び4年生の児童
- 第3部・・・小学校5年生及び6年生の児童
- 第4部・・・中学校の生徒
- 第5部・・・高等学校以上の生徒、学生及び一般
- パソコン統計グラフの部・・・小学校の児童以上

## 課題

課題は各部とも自由です。

ただし、小学校4年生以下の児童の応募については、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしたものとします。

## 規格

各部とも、B2判(仕上げ寸法72.8cm×51.5cm、用紙は貼り合わせでもB2判であれば可)です。

## 提出先・締切日

提出先は、各都道府県統計協会又は各都道府県統計主管課となります。

締切日は、各都道府県で異なりますが、おおむね9月上旬となっています。

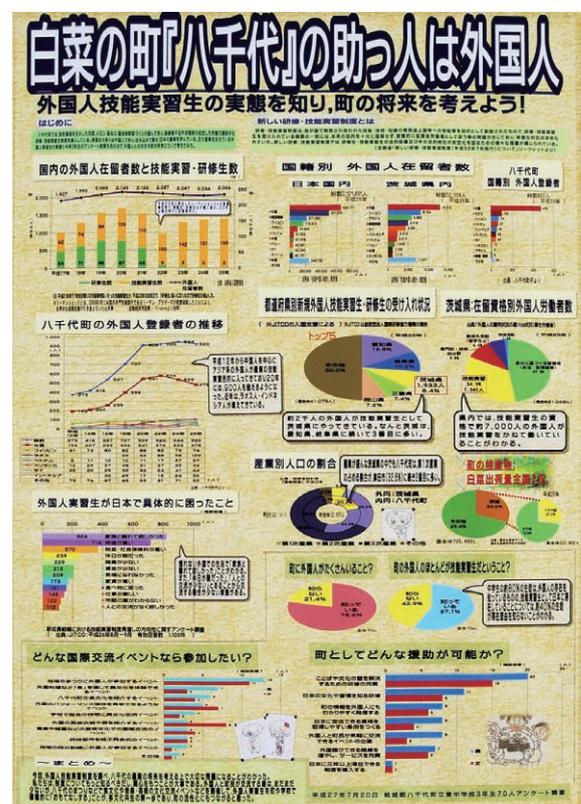
## 入賞区分・賞等

各部ごとに特選、入選及び佳作作品が選定され、特選の中から、特に優秀な作品に対しては、「総務大臣賞」、「文部科学大臣賞」等が特別賞として贈られます。

## 締切日や応募方法等のお問合せ先

締切日や応募方法等の詳細は、開発センターのホームページ(<http://www.sinfonica.or.jp/tokei/graph/index.html>)を御覧いただくか、同センターまでお問い合わせください(連絡先:03-3234-7478)。

## 第63回総務大臣特別賞受賞作品 「白菜の町『八千代』の助っ人は外国人」



茨城県八千代町立東中学校(受賞時)  
篠原 菜々花さん(3年)  
西村 翔太郎さん(3年)

# 「なるほど統計学園」の御案内（夏休みに向けて）

統計局では、学習指導要領に沿った統計教育を支援するため、小・中学生向けサイト「なるほど統計学園」を平成22年度から開設しています。

その中から、今回は、夏休み向け自由研究で統計をテーマとした際に有用なコンテンツを紹介します。



「なるほど統計学園」は、「探す・使う・作る」、「学ぶ・知る」、「親しむ」、「遊ぶ」、「放課後」の5つのカテゴリで構成されています。今回紹介するコンテンツは全て「探す・使う・作る」のカテゴリにあります。

自由研究を行うに当たり、まずは「テーマ選び」、次にテーマに沿った「統計データ探し」、そして、実際に「統計をグラフにあらわす」、といった手順で行いましょう。

## 「テーマ選び」

### ●自由研究お助け隊

自由研究のテーマの選び方や進め方を紹介するコーナーです。読みながら簡単に分かるマンガ版「マンガで見る自由研究」や、より詳しく知りたい方向けのテキスト版「詳しくわかる・自由研究の進め方」等があります。

「詳しくわかる・自由研究の進め方」ではテーマ例として、「なるほど統計学園」先生役キャラクターの本間先生が「日本の人口～過去・現在・未来」、「日本の住宅事情は？」等幾つかメニューがありますので、テーマ探しの参考になります。



本間先生

## 「統計データ探し」

### ●探してみよう統計データ

知りたいことからでも、調べたい分野からでも、統計

データを探せるコーナーです。都道府県で比べたり、世界の国々と比較したりできるデータもあります。グラフで見たり、ダウンロードしたりすることも可能です。「出典の統計表」を見ればより詳しく内容を把握できます。

また、「チャレンジ！e-Stat」では、政府統計の総合窓口（e-Stat）の使い方等を学習できます。統計データの調べ方や資料・データの利用方法を身につけることで、より適切に資料・データを収集できるようになります。

## 「統計をグラフにあらわす」

### ●統計をグラフにあらわそう

9種類のグラフについて特徴を紹介しています。表す内容によってどんなグラフが向いているのかが理解でき、統計を適切にグラフに表すことができます。

### ●作ってみよう統計グラフ

棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフを作成できるソフトと都道府県データを塗り分けするための白地図をダウンロードできます。白地図を使用して資料・データを地図上に整理することで、分かりやすく地域を比較できるようになります。



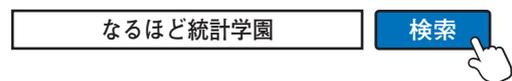
はかり 統計 学園長

これから、夏休みの自由研究で統計をテーマとする際には、今回紹介したコンテンツを御活用ください。

もちろん、小・中学生だけでなく、保護者の方や、統計調査に携わる方等大人でも楽しんで使っていただけますので、是非一度御利用ください。

## 【なるほど統計学園】

<http://www.stat.go.jp/naruhodo/index.htm>



中核市発とうけい通信 ②

百年の彩りを 次の100年の輝きへ



八王子市総務部統計調査課

●八王子市の概要

八王子市は、東京都心から西へ約 40 キロメートル、新宿から電車で約 40 分の距離に位置しています。地形はおおむね盆地状で、北・西・南は海拔 200 メートルから 800 メートルほどの丘陵地帯に囲まれ、東は関東平野に続いています。

本市は、大正 6 年の市制施行から、平成 29 年で 100 年を迎えます。「市制 100 周年記念事業」として、平成 29 年 9 月から 10 月に開催する「全国都市緑化はちおうじフェア」を始めとした、様々な事業を展開します。また、平成 27 年 4 月には東京都初の中核市となり、人口約 58 万人の多摩地区のリーディングシティとして、発展を続けています。

●年間 300 万人が訪れる高尾山

東京都には、標高 1,000 メートル以上の山々が続く奥多摩があります。高尾山はその南東部、関東山地の端にある標高 599 メートルの小さな山ですが、東京都の中では、豊かで変化に富んだ自然が広がっています。ブナなどの温帯林（落葉広葉樹林）とカシなどの暖帯林（常緑広葉樹林）が接していることから、植物学上とても珍しい山とされており、約 1,600 種類の植物が生育し、約 100 種類の野鳥、約 20 種類の動物、約 5,000 種類の昆虫が生息しているとされています。

高尾山には 6 つの自然研究路が整備されており、テーマや自分の体力に合わせてルートを選び、ハイキングをしながら植物・野鳥観察、森林浴などを楽しむことができます。

ミシュラン三つ星観光地に選ばれた高尾山は、東京都心部からのアクセスも良いことから、年間 300 万人もの訪問客が訪れ、「登山者数世界一の山」とされています。高尾山は都会の喧騒の中で暮らす人々の、東の間の憩いの場となっています。

また、平成 27 年 8 月に開館した「高尾 599 ミュージアム」では、高尾山の四季折々の美しい植物や昆虫の展示を見ることができます。さらに、プロジェクションマッピングにより、高尾山に棲む動物たちの生態をダイナミックかつユーモラスに体感することができます。



高尾 599 ミュージアム

●学園都市としての八王子

八王子市は、21 の大学等（大学・短期大学・高等専門学校）があり、約 10 万人の学生が学んでいる、全国でも有数の学園都市です。人口減少という問題に多くの自治体が進むなか、大学が多いことで若い人口が安定的に流入することは、他の自治体に対して大きな強みとなっています。

しかし、大学入学で市内へ移り住んだ学生の多くは卒業、就職を機に市外へ転出してしまおうというのが現実です。東京都と八王子市の転入者・転出者の年齢階級別構

成比の比較（図 1・図 2）を見ると、転入者は 15～19 歳（12.3%）の割合が高く、転出者は 20～24 歳（25.1%）の割合が高くなっています。東京都全体のデータと比較すると大学入学時（15 歳～19 歳）の転入と大学卒業時（20～24 歳）の転出が際立っており、学園都市八王子の特徴がよく表れています。

市内には、約 20,000 社の企業があり、業種は古くから受け継がれてきた織物産業や農業、今や基幹産業の一つとなっている先端分野のものづくりなど、実に様々です。

市内企業への就職率を上げるため、本市では、市内企業の概要や求人情報を掲載した就職支援サイト「はちおうじ就職ナビ」を運営しています。市内企業と若者の就職をマッチングすることで、学生の地元企業への就職を支援し、卒業後も本市に定着してもらえるように、取組を行っています。

図 1 転入者の年齢階級別構成比 東京都と八王子市

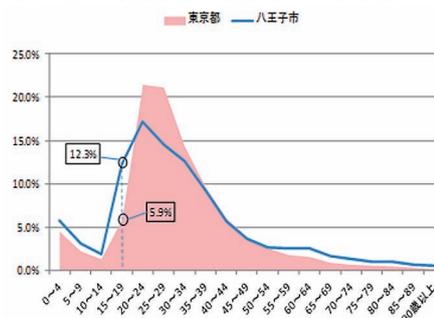
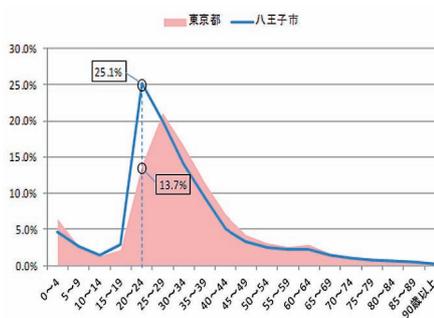


図 2 転出者の年齢階級別構成比 東京都と八王子市



※東京都は平成 24 年の 1 か年平均。八王子市は平成 19～24 年度の 6 か年平均。

出典：住民基本台帳

●新たな 100 年の輝きに向けて

八王子市は、平成 29 年に市制 100 周年という大きな節目を迎えます。市民の皆さんと 100 周年を盛り上げようと、今年度はプレ事業期間として、「彩りの百年」、「彩りから輝きへ」をテーマに八王子の魅力を見直す 100 のイベントを開催します。

高尾山に代表される豊かな自然や長い歴史とそれに育まれた伝統と文化など、魅力あふれる八王子市に、是非、お越しください。

平成 28 年 主なイベント

- ・ 7 月 30 日 「八王子花火大会」
- ・ 8 月 5 日～ 7 日 「八王子まつり」
- ・ 11 月 19 日～ 20 日 「いちょう祭り」

# 最近の数字

実数	人口 (推計による人口) 千人(Pは万人)	労働・賃金			産 業		家計(二人以上の世帯)		物 価	
		就業者数 万人	完全失業率 (季節調整値) %	現金給与総額 (規模30人以上) 円	鉱工業 生産指数 (季節調整値) H22=100	サービス産業 の月間売上高 兆円	1世帯当たり 消費支出 円	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯) 円	消費者物価指数	
									全国 H22=100	東京都区部 H22=100
H27.12	127,103	6385	3.3	655,571	95.9	30.7	318,254	751,540	103.5	101.9
H28.1	P12682	6399	3.2	299,426	98.3	P26.9	280,973	355,700	103.0	101.3
2	P12681	6351	3.3	292,182	93.2	P27.3	269,774	394,411	103.2	101.7
3	P12692	6339	3.2	313,419	96.7	P35.6	300,889	369,306	103.3	102.0
4	P12698	6396	3.2	P307,441	P97.0	...	298,520	388,135	103.4	102.0
5	P12696	...	...	...	...	...	...	...	...	P102.0
前年同月比		%	ポイント	%	%	%	%	%	%	%
H27.12	-	0.4	* 0.0	-0.3	* -1.2	3.0	-4.4	-3.1	0.2	0.1
H28.1	-	1.4	* -0.1	1.0	* 2.5	P1.0	-3.1	-0.9	0.0	-0.3
2	-	0.5	* 0.1	1.2	* -5.2	P1.9	1.2	-3.4	0.3	0.1
3	-	0.3	* -0.1	2.0	* 3.8	P-0.3	-5.3	1.3	-0.1	-0.1
4	-	0.9	* 0.0	P0.7	* P 0.3	-	-0.4	1.2	-0.3	-0.4

(注) P：速報値 \*：対前月  
 家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値  
 総人口：平成28年1月及び2月は平成22年国勢調査を基準とした値、平成27年12月及び平成28年3月以降は平成27年国勢調査人口速報集計を基準とした値

## 掲示板 統計関係の主要日程 (2016年6月～7月)

### 《会議及び研修関係等》

時 期	概 要	時 期	概 要
6月1日	平成28年経済センサス - 活動調査調査日	7月4日	統計研修 統計専門課程「人口推計」開講(～8日)
〃	統計研修 統計基本課程「統計利用の基本」開講(～3日)	〃	通信研修 「入門1(7月)」開講(～25日)
7日	統計研修 統計入門課程「統計実務者向け入門(6月)」開講(～10日)	11日	統計研修 統計専門課程「国民・県民経済計算」開講(～15日)
〃	通信研修 「入門1(6月)」開講(～27日)	20日	統計研修 特別コース「明日に役立つ統計セミナー」開講
14日	統計研修 統計入門課程「統計利用者向け入門(6月)」開講(～17日)	25日	統計指導者講習会(～26日)
21日	統計研修 統計基本課程「統計分析の基本」開講(～24日)	〃	統計研修 統計専門課程「経済予測」開講(～29日)
29日	統計研修 統計基本課程「経済統計の基本」開講(～7月1日)	27日	ブロック幹事等統計主管課長会議
30日	第98回統計委員会	下旬	第99回統計委員会

### 《調査結果の公表関係》

時 期	概 要	時 期	概 要
6月3日	小売物価統計調査(ガソリン)平成28年5月分公表	7月20日	人口推計(平成28年2月1日現在確定値及び平成28年7月1日現在概算値)公表
7日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成28年4月分速報)公表	25日	住民基本台帳人口移動報告(平成28年(2016年)6月分)公表
14日	家計調査(家計消費指数：平成28年(2016年)4月分)公表	29日	労働力調査(基本集計)平成28年(2016年)6月分(速報)及び平成28年(2016年)4～6月期平均(速報)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成28年4月分確報)公表	〃	家計調査(二人以上の世帯：平成28年(2016年)6月分速報)公表
20日	人口推計(平成28年1月1日現在確定値及び平成28年6月1日現在概算値)公表	〃	消費者物価指数(全国：平成28年(2016年)6月分、東京都区部：平成28年(2016年)7月分(中旬速報値))公表
23日	住民基本台帳人口移動報告(平成28年(2016年)5月分)公表	〃	小売物価統計調査(全国：平成28年6月分(東京都区部：平成28年7月分))公表
24日	統計でみる市区町村のすがた2016 刊行	〃	サービス産業動向調査(平成28年5月分速報)公表
29日	平成27年国勢調査 抽出速報集計結果公表	〃	サービス産業動向調査(平成28年2月分確報)公表
30日	サービス産業動向調査(平成28年4月分速報)公表		
〃	サービス産業動向調査(平成28年1月分確報)公表		
7月1日	労働力調査(基本集計)平成28年(2016年)5月分(速報)公表		
〃	家計調査(二人以上の世帯：平成28年(2016年)5月分速報)公表		
〃	消費者物価指数(全国：平成28年(2016年)5月分、東京都区部：平成28年(2016年)6月分(中旬速報値))公表		
〃	小売物価統計調査(全国：平成28年5月分(東京都区部：平成28年6月分))公表		
8日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成28年5月分速報)公表		
〃	小売物価統計調査(ガソリン)平成28年6月分公表		
12日	個人企業経済調査(構造編)平成27年結果公表		
15日	家計調査(家計消費指数：平成28年(2016年)5月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成28年5月分確報)公表		

**編集発行** **総務省統計局**

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1  
 総務省統計局 統計情報システム課  
 統計情報企画室 情報提供第一係

TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361  
 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp  
 ホームページ <http://www.stat.go.jp/>  
 御意見・御感想をお待ちしております。